週刊 愛知民報

2021年
11月21日
第2563号

発行所 愛知民報社
〒460-0007　名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925　FAX(052) 261-6063
定価　月　400円　郵送料168円　1部　100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）
1966年7月31日第三種郵便物認可

2022年参院選 愛知選挙区予定候補

すやま初美さん発表

ジェンダー平等と気候危機打開に全力

日本共産党愛知県委員会は11日、2022年の参院選の愛知選挙区の予定候補者に、すやま初美（須山はつみ）さん（43・新）の擁立を発表しました。

◆

【プロフィール】

1978年10月31日、静岡県生まれ。愛知産業大学デザイン学科卒業。名古屋市中区の広告会社でデザイナーとして10年間勤務。2016年・2019年参院選愛知選挙区候補。2021年総選挙愛知7区候補。

現在、日本共産党准中央委員、党愛知県委員会副委員長、党県新型コロナ対策本部長、党県ジェンダー平等委員会責任者。

◆

すやま初美さんは、日本共産党愛知県コロナ対策本部長として、現場の声を行政に届け続けてきました。繁華街での大規模検査や福祉施設への定期的なPCR検査の実施、保健所の体制強化、休業支援金の対象拡大などを実現しました。

党県ジェンダー平等委員会責任者として各地で講師活動。愛知県では女性の賃金は男性の半分。東海圏では男女の賃金格差は全国ワースト1となっており、男女の賃金格差の是正に全力をあげています。

関連記事4面下＝すやま氏決意表明

街頭から訴える（左から）日本共産党の、すやま初美さんと、もとむら伸子衆院議員＝15日、名古屋市・金山総合駅前

「共闘勢力」比例合計で前進

「与党勢力」「補完勢力」の合計は減

日本共産党の志位和夫委員長は10日、特別国会開会にあたり党国会議員団総会であいさつ。その中で「総選挙の結果をどう見るか」について述べました。

志位あいさつから一部抜粋し、比例東海と愛知の結果をグラフにしました。（全国結果と志位あいさつは「しんぶん赤旗」11日付）

◆

（志位あいさつ抜粋）

私は、4年前の総選挙と今回の総選挙で、政党間の力関係がどう変わったかを冷静に見ることが大切だと思います。政党の政治的立場を「与党勢力」「与党の補完勢力」「共闘勢力」の3つに分類し、4年前の総選挙と今回の総選挙の比較をすると次のようになります。

――まず「与党勢力」はどうか。4年前に比べて、自民と公明は合計で、比例得票では150万票を増やしていますが、議席では19議席を減らしています。

――次に「与党の補完勢力」はどうか。4年前の総選挙では「希望の党」という政党がありました。…「希望の党」の政党としての政治的立場は、まぎれもなく「与党の補完勢力」でありました。

「与党の補完勢力」は、4年前の希望、維新の合計と、今回の維新で比較しますと、比例得票では501万票を減らし、議席では20議席を減らしています。

――最後に「共闘勢力」はどうか。4年前、共闘してたたかった共産、立民、社民の合計と、今回共闘してたたかった共産、立民、れいわ、社民の合計で比較しますと、比例得票では246万票を増やし、議席では42議席を増やしています。

これがこの4年間の政党間の力関係の変化を示す客観的な数字であります。

比例東海の前回総選挙からの議席の増減（定数21）

自・公	維・希	共・立・社
10議席	6議席	5議席

自・公	維	共・立・れ・社
12議席	2議席	6議席

比例東海の前回総選挙からの比例票の増減

自・公	維・希	共・立・社
3,019,066	1,743,308	1,937,048

自・公	維	共・立・れ・社
3,300,817	964,630	2,251,981

愛知県の前回総選挙からの比例票の増減

自・公	維・希	共・立・社
1,408,908	839,908	994,950

自・公	維	共・立・れ・社
1,586,106	368,716	1,157,284

共産党

むらせ氏出馬

市民犠牲の河村市政に対決

名古屋市議補選（東区）

26日告示、12月5日投開票

自民党市議の衆院選出馬・失職に伴う名古屋市議補選（東区・被選挙数1）が26日告示、12月5日投開票でおこなわれます。日本共産党から、党県委員・愛知民報編集長の、むらせ和弘氏（50）が立候補を予定しています。

同補選は、医療・福祉切り捨ての河村市政に正面から対決し、くらし第一の市政に変えるかどうかが問われる政治戦です。

河村市政は、病院、図書館、保育園など暮らし・福祉や公共施設を次つぎ削減・民間委託を進めてきました。来年2月から敬老パス年間利用上限「730回」を押し付けようとしています。

議会で、市政与党は減税日本ナゴヤ。自民、名古屋民主、公明の各会派は、当初予算など市民犠牲の議案に賛成してきました。

むらせ氏は17日の会見で「コロナ対策、暮らし・福祉充実の市政実現に全力を挙げる」と表明しました。